

学位被授与者氏名	真鍋 かおる (まなべ かおる)
論文題目	看護学生のモチベーションの低下：その誘引と教師のあり方について考える
論文審査結果の要旨	<p>医療現場が高度化・複雑化し、看護師に求められる看護師としての専門性が高度化し、その養成教育が緊切の課題となっている今日、本研究論文はそうした課題に答え得る5年一貫看護教育の在り方について考察しており、社会的要請を引き受けた意義深い論文であり、また対象となる5年一貫教育研究の蓄積が少ない点から見ても、独自の研究である。日本の看護教育制度全体の中での5年一貫看護教育固有の課題を考察した上で、看護学生の学習や就業へのモチベーション低下の誘因を5年一貫看護教育固有の誘因、学習上の課題からの誘因、関係課題からの誘引等と整理して構造的に示しており明快である。さらに教育指導の検証を通して、より高度な看護知識・実践力や教育実践力を形成すべきという、看護教員の課題も論述し、実践的研究としても価値の高い論文となっている。</p> <p>平成24年2月22日、北九州市立大学（北方キャンパス）において最終試験を実施、審査委員の全員一致により、当該論文が人間関係学の修士学位論文として十分な内容の論文であると判定した。</p>